



10月の予定

〈公〉中央公民館 〈農〉農業者トレーニングセンター
〈町〉町民会館 〈さ〉さんさん館 〈健〉健診ホール
〈温〉温水プール 〈ふ〉ふれあい公園PG場

- 6日(日) [休日当番病院] 津別病院 ☎76-2121
- 8日(火) 秋のすずらん法律相談 午後1時~4時(役場1階 相談室1)
- 13日(日) [休日当番病院] 美幌町立国保病院 ☎73-4111
- 14日(月) [休日当番病院] 美幌療育病院 ☎73-3145
- 16日(水) 離乳食教室(中・後期) 午前10時~正午(役場 調理実習室)
- 18日(金) 特設行政相談所 午後1時~3時(役場1階 中ホール)
- 19日(土) リサイクル回収 午前9時~11時(スポーツ交流館)
第6回つべつウッドロスマルシェ 午前9時~正午
(津別町木質バイオマスセンター)
- 20日(日) [休日当番病院] 美幌 玉川医院 ☎75-2780
秋の生ごみ堆肥町民還元 午前8時~10時(堆肥センター)
- 27日(日) [休日当番病院] 美幌 こばやし内科クリニック ☎73-3356
- 28日(月) 乳幼児相談会 午前9時~(健)

人の動き

令和6年8月末現在 ()は前月比

人口 4,015人(-1) 世帯 2,157戸(+4)
 男性 1,981人(+2) 女性 2,034人(-3)
 高齢化率 45.48% 1,826人

メール配信システム「ささえねっと @つべつ」への登録をお願いします！

町の防災情報など大切な情報をお届けしています。

メールの登録方法	LINEの登録方法
①QRコードから登録	QRコードから登録
②t-tsubetsu@sg-p.jp (メールアドレス)を入力し、空メールを送り登録	※詳細は、町ホームページをご覧ください。

ハロウィンジャンボ 5億円 500,000円

9月17日(火)同時発売

1等・抽選賞金合わせて1億3,000万円、当選者数1億円

1等・抽選賞金合わせて1億3,000万円、当選者数1,000万円

このまぐの収益金は町民の暮らしを支えるため、町民の生活向上のために使われます。

【2021】再開(べつ)まつり

9月9日、10日の両日、第29回ふるさとまつりが5年ぶりに開催された。

昨年実施した住民満足度調査の項目に「おまつりの取組について」がある。前回令和3年の調査では「満足+やや満足」が74.9%だったが、今回は67.9%になり、「不満+やや不満」が12.2%から20.0%になった。

毎年津別町では、実行委員会形式で大小様々なイベントが開催されている。その一つ「ふるさとまつり」が、4年間開催されなかったことが数字にはっきり表れたようだ。今年には再開に向け、町民の有志が声を掛け合い開催にこぎつけた。津別神社例大祭の方も実行体制を整え、寄附集めに奔走され、この日を迎えるためご尽力された方々に心から敬意を表したい。

神社近くのまつり会場には41のブースが設けられ、焼き鳥、ハンバーガー、チョコバナナ、かき氷、綿あめ、ジエ

ライト、ビールなどの他、ゲームコーナーも設けられ、多くの町民が2日間にわたって食欲の秋を楽しんだ。店を眺めながら歩いていると、「町長、やっぱりまつりはいいね」と声をかけられ、子どもたちからは「こんにちはー」とか「オッス」などと声をかけられた。

神輿の渡御も5年ぶりに行われた。津別神輿会「鹿鳴郷」を中心に地元高校生や、他市町村の神輿会も肩を入れに駆けつけ、セイヤ、ソイヤの掛け声が町に響き渡った。これに合わせ、子ども神輿や伝統芸能「駒踊り」も子どもたちの力で復活した。

今回の「ふるさとまつり」の一方で、残念ながら毎年10月に開催されていた「産業まつり」は終了になった。これは人口減少とともに、イベントを実行する部隊への負担が増大していることが大きな理由である。イベントの数も多いことから、少し絞りながら楽しむ環境が持続できればと思う。

たてよこプラス



町長 佐藤多一

たてよこプラス

今年には再開に向け、町民の有志が声を掛け合い開催にこぎつけた。津別神社例大祭の方も実行体制を整え、寄附集めに奔走され、この日を迎えるためご尽力された方々に心から敬意を表したい。

神社近くのまつり会場には41のブースが設けられ、焼き鳥、ハンバーガー、チョコバナナ、かき氷、綿あめ、ジエ